

木になる紙の間伐林業者を増やす取組

木になる紙

シンポジウム 2025

テーマ
森林保全と森林所有者支援

2025年
6月21日(土)

時間 13:30～16:40 (12時半会場)

場所 五木村役場大会議室

[熊本県球磨郡五木村甲2672-7]

参加費
無料
定員60名

主催:「国民が支える森林づくり運動」木になる紙九州事務局

共催:日本製紙株式会社、株式会社有機生活 後援:九州森林管理局「国民が支える森林づくり運動」推進協議会

木になる紙 シンポジウム

テーマ

森林保全と森林所有者支援

「木になる紙」は、間伐材を利用して作られています。その最大の特徴は、購入していただくと売上の一部が森林所有者など森林を手入れする人たちの元に還元される点です。また、間伐材である曲がり材などの行く先が燃やしてエネルギー化されるより、間伐紙(木になる紙)になることを望んでいる森林所有者、林業者の声も多くあります。昨今では、間伐時の作業手法、森林保全のありかたなども問われています。木になる紙を通して、森林林業の課題を解決していく一つの手法として木になる紙の森林保全や森林所有者への支援は欠かすことができません。今回は、森林に関わるいくつかの課題を捉えながら木になる紙の役割を考えてみたいと思います。

● スケジュール ●

- 13:30 ~ 13:40 開会の挨拶
- 13:40 ~ 14:20 **基調講演** 「木になる紙の取り組みと森林保全」
佐藤宣子氏
- 14:20 ~ 14:35 「日本製紙株式会社の紹介」
中原智史氏
- 14:35 ~ 14:50 「間伐材のカスケード利用と木になる紙」
松下修氏
- 14:50 ~ 15:00 休憩
- 15:00 ~ 16:30 **シンポジウム** 森林保全と林業家支援
[パネリスト5名] (会場からの意見交換含む)
佐藤宣子氏 / 九州大学大学院農学研究院教授
中野重実氏 / 五木村森林組合元参事
相原伸一氏 / 日本製紙株式会社 九州支営業支社社長代理
津ヶ原隆敏氏 / 五木村森林所有者
猿渡俊介氏 / 球磨川流域保林グループ
[コーディネーター]
松下修氏 / 合同会社松下生活研究所 代表取締役
- 16:30 ~ 終了挨拶
- 16:40 終了

パネラー紹介



佐藤 宣子

九州大学大学院農学研究院教授

1961年福岡県生まれ。九州大学大学院農学研究科林業学専攻博士課程修了。大分県きのこ研究指導センター研究員、九州大学農学部助手、同助教授などを経て、2007年より同大学院農学研究院教授。専門は、森林政策学、山村社会学。現在、球磨川流域を含む全国8流域を対象に社会資本としての森林整備のあり方についての研究プロジェクトを実施中。主な著作として『地域の未来・自伐林業で定住化を図る』(農山漁村文化協会、2020年)、NPO法人九州森林ネットワーク理事長などを勤める。

猿渡 俊介 球磨川流域保林グループ

会社員を辞め独立し木に携わる仕事を始める。球磨川豪雨災害で何もできなかった事が心残り山に入る事を決意。活動場は主に八代市坂本町、県内各地でチェーンソー技術向上の為 チェーンソーアートも行っている。

中野 重実 五木村森林組合元参事

間伐林業の立場から、木になる紙の取組に賛同し、燃やすより紙にしたいという気持ちで関わって来ました。5月に森林組合を退職したばかりですが、今後でもできる限り関わって行きたいと思います。

津ヶ原 隆敏 五木村森林所有者

6歳まで五木村在住、54歳で五木村にUターン。小学校は八代の大田郷小学校、八代第二中学校、八代工業高校機械科、日産自動車(厚木市)テクニカルセンター(設計、試作、実験)担当。五木村に山(24ha)を所有。災害が起き、五木にダム関連もあるが、治山に力を入れて広葉樹を増やしていきたい。

松下 修 合同会社松下生活研究所 代表取締役

1955年生まれ、「国民が支える森林づくり運動」木になる紙九州事務局を発足時から担当。公共政策学博士、六次産業化ボランティアプランナー、総務省地域アドバイザー。宮崎県諸塚村、鹿児島県屋久島町、五木村などの林業振興(木材流通や建築)に長年関わる。

相原 伸一 日本製紙株式会社 九州支営業支社社長代理

中原 智史 日本製紙株式会社 九州支営業支社社長代理

▼ 参加予約はメールにて受付中! ▼

名前、連絡先、所属(あれば)を記載して参加の旨お送りください。

E-mail:
on@jade.plala.or.jp

【問合せ】株式会社有機生活 FAX:096-365-3917 TEL:090-7475-8015(松下) E-mail: on@jade.plala.or.jp

